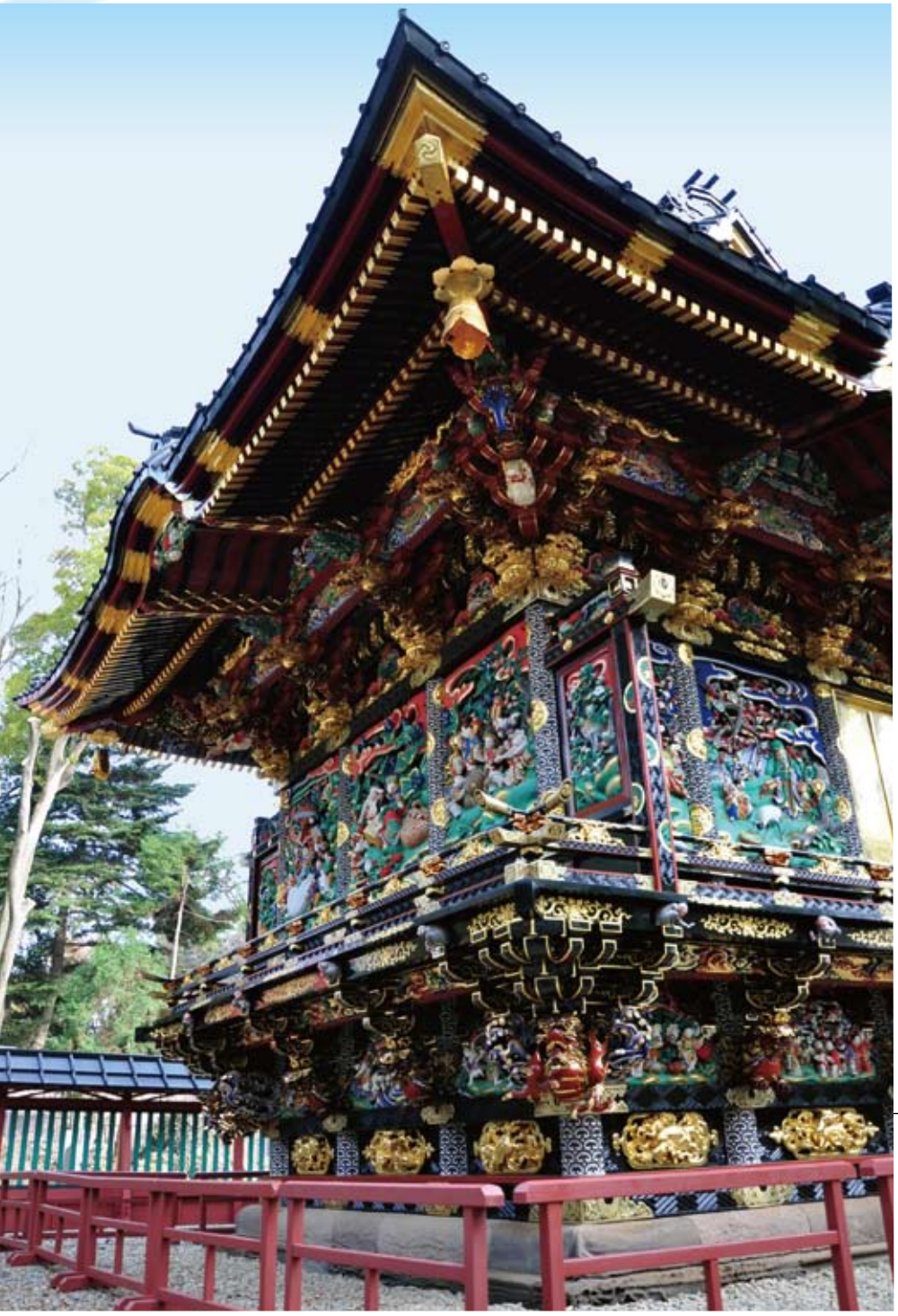
市報
くまがや
Kumagaya City public relations magazine

1
VOL.64 2011



特集 P2 新年のごあいさつ 市長新春座談会

P8 市政ワイド
平成 19 ～ 21 年度の行政改革の取組状況 ほか

P10 市政情報

P16 くらしの情報
催し・講習・募集・試験・スポーツ

P20 くらしの相談

P21 いきいき元気みんなの健康

P24 文化施設情報

P28 熊谷市ホームページをリニューアルしました

P30 フォトニュース・市報クイズ
おたよりパレット

P32 情熱世代 夢追い人・
よみがえる彩色「歓喜院聖天堂」

もうすぐ一般公開、見事に蘇（よみがえ）った聖天堂

７年間にわたる、妻沼聖天山・歓喜院聖天堂の保存修理工事が終了し、いよいよ今年６月には一般公開される予定です。美しく彩色を施され、創建当時の輝きを取り戻した聖天堂。市民の皆さんにお目見えする時が、刻一刻と近づいています。

熊谷市役所 TEL 048-524-1111
大里庁舎・大里行政センター TEL 0493-39-0311
妻沼庁舎・妻沼行政センター TEL 048-588-1321
江南庁舎・江南行政センター TEL 048-536-1521

熊谷市ホームページ
熊谷市役所 検索

新年のごあいさつ　熊谷市長　富岡　清

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、平素より、市政運営に対するご理解とご協力に深く感謝いたします。

ここで平成23年の年頭における私の市政への思いの一端を申し上げます。

本市は二度の合併を経て、より自立性の高い権限を持つ特例市、特定行政庁へと順調に歩みを進めておりますが、地域主権改革の動きが本格化する中、20万都市にふさわしい透明・公平で信頼される行政を運営するには、市民皆様を主体とした参加と協働の理念のもと、確固たる行財政基盤に裏づけられた魅力的な地域社会を築くことが何よりも重要であると、決意を新たにしたところです。

そのため、将来都市像を「川と川 環境共生都市 熊谷」とする総合振興計画に基づく各施策については、事業効果の検証や見直しを行いながら、計画的に事業の展開を図ってまいります。昨年の夏は、全国各地で記録的な猛暑となり、異常気象がもたらす集中豪雨や自然災害などは記憶に新しいところです。このような中、暑さ対策の先進都市である本市としては、今年の夏に向け、市民皆様の命と健康を守る先端的で効果的な具体策を全国に発信できるようにしてまいりたいと考えております。また、子育てを支援するため、これまで取り組んでまいりました子ども医療費の無料化や子宮頸がん予防ワクチンの接種費用の公費助成など子育て施策の拡充に努めてまいります。さらに、新たな企業立地条例の施行により、既存企業の支援を強化するとともに、地球環境等に配慮した企業の立地を推進し、産業の振興と雇用の拡大を図るなど、新たな行政課題にも柔軟かつ積極的に取り組んでまいります。

今年の6月には、世界陸上の代表選手選考競技会を兼ねた「第95回日本陸上競技選手権大会」が、熊谷スポーツ文化公園で開催されます。スポーツ熱中宣言都市ならではの合言葉「実践」「応援」「協力」をスローガンに、全国から集まる選手をはじめ、競技関係者や観客の皆さんを温かくお迎えしましょう。

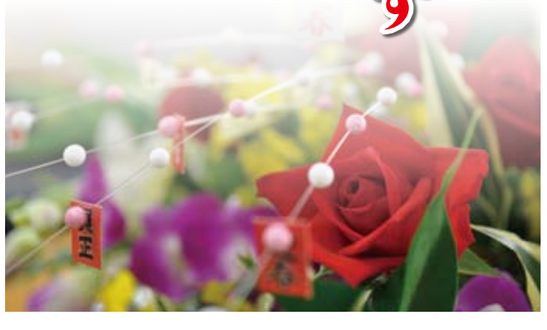
また、私が目指す「市民から信頼される行政、市民が誇りをもてるまちづくり、市民の笑顔があふれるまち熊谷」の実現には、市民皆様との直接対話が市政運営の原点との考えから、皆様による積極的な市政への参画をこれまで以上にお願いすることにより、今年もより多くの方々からたくさんの活力をいただきたいと思っておりますので、一層のお力添えをお願いいたします。

新しい年が、皆様にとりまして、すばらしい年となりますよう、心からご祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。

平成23年
市長新春座談会

若者の感性が、「ふるさと」熊谷の未来を写し出す

平成23年の始まりにあたり、熊谷市出身の著名人を代表して、江森康之さんとSHIORIさんをお招きし、市長を囲んでお話をしていただきました。



はじめに

市長　明けましておめでとうございます。

江森さん、SHIORIさんには、多忙なスケジュールの合間を縫ってお越しいただき、心から感謝いたします。

さて、合併後の新熊谷市となって、早いもので5年が経過しました。私は、県北最大の都市、また唯一の「特例市」である本市の明るい未来を拓くため、日々情熱を持って市政運営をおこなっています。

そこで本日は、幅広い年代から支持される若手著名人のお二人と、「ふるさと熊谷の魅力」や「熊谷市の未来」について大いに語り合いながら、将来に活かせるアイディアやアドバイスなどをいただきたいと考えていますので、ぜひ素晴らしいご意見をお聞かせください。

熊谷市の輝く未来を象徴するような、実りある座談会となればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お二人の自己紹介

お二人の自己紹介と、最近の活動状況などについてお話しください。

江森　江森康之と申します。今は映画「源氏物語」のパンフレットやポスター、写真集などの仕事をしていて、12月までは京都で仕事をしていました。

ほかには、今、「泳いでいる人を100人撮る」ということをしています。無意識の瞬間といいますか、男の人が全力で泳ぎ呼吸する表情は、生きることの表れだなって思いまして。まだ半分くらいですが、100人撮り終わったら、写真集にしたいと思っています。

市長　ありがとうございました。次に、SHIORIさんお願いいたします。

SHIORI　SHIORIと申します。20歳のときにフードコーディネーターを目指して師匠に弟子入りし、1年8か月で独立しまして、22歳のときに念願だった初の料理本、「作ってあげたい彼ごはん」を出版しました。これまでにシリーズを6冊発売し、現在250万部までいきました。それ以外の活動は、ファッション誌の連載や、テレビの料理番組への出演、料理教室の講師、あとは企業と商品を開発したりしています。

市長　お二人ともそれぞれメディアに関係した仕事で、熊谷市にとっては貴重な存在です。若いお二人が活躍してくれるのは大変ありがたいことだと思っています。今日はよろしくお願いします。

子どものころの自分・青春時代

熊谷市で子ども時代を過ごされた中で、どのようなことが思い出に残っていますか。

江森　小・中学校の記憶が断片的なんですが、幼なじみと一緒に下校していた時の記憶が思い出深く残っています。「夕方の気持ちいい場所」っていうのかな。すごく〝キラキラ〟してたんですよ。トボトボ帰りながら、7月になるとうちわ祭のお囃子の音が聞こえてくるんですよね。あの感じは、今写真を撮っていて、ものすごい大事だった気がしますね。

大学時代に一度、熊谷東小学校の時に通っていた通学路の写真を、小学校の時の感覚に戻って撮ってみたんです。目についたものを感覚的にパッパッパッて撮っていくわけですよ。子どもが「あっ！」とか言って写真撮る感じっていうのかな。あれが一番純粋な感じがするんですよね。

江森さんの記憶に刻まれるうちわ祭のお囃子

市長　幼いころの熊谷の雰囲気、特にうちわ祭のお囃子が、耳の中や、頭の中に残っているのは、やはりお祭が熊谷人の原点みたいな部分ということなんですかね。

江森　そうですね。いろんな場所に行って、写真を撮りますけど、その地域のお祭っていうのは結構見てしまうんですよね。

市長　江森さんにとっても熊谷の祭は原風景で、それぞれの地域にある原風景を求めてついシャッターを切りたくなるんじゃないでしょうか。SHIORIさんはどうですか。

SHIORI　私は近所に聖天様があって、本当に聖天様を身近に感じながら1年過ごしていたなと感じます。元旦は初詣に行き、次に節分、春は例大祭、1年の最後は除夜の鐘を突きに行くんです。それと私は利根川の土手沿いに住んでいたので、夏は1年に1度の妻沼花火大会を、家族みんなで楽しみにしていました。冬は雪が積もった土手でソリ滑りをした記憶もあって、大らかな自然に囲まれて、本当に恵まれた幼少時代だったかなって思います。

SHIORI さんの思い出に残る妻沼聖天山の例大祭

市長　妻沼地域は聖天様を中心に1年が回っている感じがして、節分、例大祭など、地域の方々が一生懸命応援しています。いよいよ聖天堂の修復が終了し、6月から一般公開の予定ですから、ぜひ楽しみにしてください。

SHIORI　それと、私は熊谷女子高校に通っていたんですけど、熊女時代に培ったものが本当に大きくて、今、人生を振り返っても、熊女で過ごした学生生活が、一番楽しかったと胸を張って言えます。当時得た友だちもかけがえのない存在で、一生ものの友だちです。

伝統行事を大事にし、堂々としていてほしいです

江森 康之（えもり やすゆき）さん
（写真家）

〈プロフィール〉
昭和54年生まれ。熊谷東小学校・富士見中学校卒。平成14年日本大学芸術学部写真学科卒業。
卒業後、映画『赤目四十八瀧心中未遂』の写真担当に抜擢（ばってき）される。
映画『ゲルマニウムの夜』、『人間失格』にも携わる。写真集に『赤目四十八瀧心中未遂』（リトル・モア）がある。

あと、熊女には、長年語り継がれている魂の言葉で「出る杭は打たれない」というのがあるんです。がんばっている人を全員で応援しようという、素晴らしい空気が充満していました。私が本を出版する時にがむしゃらに頑張れたのも、やはり熊女時代に得た、「出る杭は打たれない」スピリッツのおかげだと思います。

市長　熊女の自由な環境の中で、いい仲間にめぐり会えて良かったですね。それに、熊女は今年100周年を迎えます。今、卒業生たちが役員になって、いろいろと準備しているようです。

お二人にとっての熊谷市の「魅力」とは

熊谷市には、豊かな自然環境、歴史・文化、お祭りやイベントなど、様々な特徴がありますが、お二人にとって、熊谷市の「魅力」とはどんなものだと思いますか。

江森　僕にとって熊谷は、両親が住んでいる「ふるさと」、そこに尽きます。以前、奈良県吉野町に6年間通って写真を撮っていたんですが、そこの友だちが、自分の住む地域のことをものすごく誇りに思っていました。自分が住んでいる地域を好きになることって、社会の始まりだと思うんです。なんか、家族から始まっている気がするんですよね。

それと、この前父親から、熊谷産のお米とうどんをもらったんですよ。僕は自炊もよくやりますし、ぬか漬け作りとかも好きなんですよね。もらったお米とうどんを食べたら、本当においしくて、あれには驚きました。

市長　熊谷は小麦の大産地ですから、小麦文化の底辺は、非常に広いんですよ。きっとそういうのもあって、お父さんはうどんを送ってくれたのかなって思いますよ。

　では、SHIORIさんにとっての熊谷の魅力はどうですか？

SHIORI　そうですね、のどかな自然もありながら、新幹線も停まるので、都心にアクセスしやすいことは大きな魅力ですね。でも、江森さんもお話しされましたが、私もやっぱり一番に挙げるとしたら、新鮮でおいしい野菜ですね。私の実家は兼業農家で、季節によって一通りのものを作っていました。私は小学校の低学年から、母の手伝いで台所に立つようになったんですけど、何か作ろうと思ったら、野菜を当たり前のように庭の畑へ採りに行くんですね。自分が東京に出た今は、野菜がすごく高いので、いかに熊谷での生活が恵まれていて、幸せで、贅沢だったのかなと思い知らされますね。

市長　なるほど。小さいときから周りに、おいしい野菜がいっぱいあったことが、今のお仕事に相当影響しているのでしょう。コンクリートに囲まれた都会の中で、小さい時から過ごしていたら、今の職業には……

SHIORI　そうですね、就かなかったかもしれないですね（笑）

若い人が元気に活躍できるまちが理想です

SHIORI（しおり）さん
（フードコーディネーター）

〈プロフィール〉
昭和59年生まれ。妻沼小学校・妻沼西中学校卒。短大卒業後、料理家のアシスタントを経て独立。
最新作「作ってあげたい彼ごはん6」（宝島社）を出版し、同シリーズ『作ってあげたい彼ごはん』は、累計250万部を突破する。初のエッセイ本「ミラクル『彼ごはん』で夢をかなえた私の物語」（宝島社）も好評発売中。雑誌やTVなど多方面で活躍中。

本市イメージアップのためのアドバイス

今後の熊谷市のイメージアップのために何かよいご意見がありましたらお聞かせください。

SHIORI　聖天様には歴史ガイドボランティアという、聖天様の歴史などを教えてくれるボランティアがいますよね。歴史を大切にしているまちは魅力的だと思います。熊谷市全体として、歴史を教えてくれるボランティアさんがいると素敵だなと思います。

江森　SHIORIさん、今、すごくいいこと言われましたね。「歴史から学ぶ」という考えは、まさにその通りだと思います。そこの地域を愛することは、歴史を愛することから始まると思うんです。それに、かっこいいと思うんですよ。

市長　お二人がお話されたように、「歴史を大切にするまち」というのはイメージアップに役立ちますよね。そのまちで生きてきた先輩・先祖を大切にする、つまりは、先人たちを大切にすることにつながります。

SHIORI　もう一つは、若者が元気で、活気に溢（あふ）れたまちにするために、若い人が参加できるイベントをもっと増やしてもらえるといいなと思います。今なら私にも役に立てることがあるのかなと思いますので、熊谷市内の若い女の子を集めて、熊谷産の野菜を使って、地産地消の料理教室をするのもおもしろいと思っています。

　料理に限らず、音楽やファッションなど、若者が興味を持つ要素を盛り込んだイベントをたくさん開催してもらえると、若者が元気なまちというイメージがつくと思うんですよね。

江森　あと、若者が集える「たまり場」的な場所が、あまりにも少なくなったと思います。観光や歴史にからめて、新しい遊び場があるといいですね。

料理教室の講師も務める SHIORI さん

市長　確かにその通りです。通学も就職も若い人たちがどんどん都会へ出て行ってしまう時代に、熊谷に若い人が集え、定着できる場所が増えることを考える必要があります。そのときには、お二人にもぜひご協力をお願いします。

将来の熊谷市に期待すること

お二人が将来の熊谷市に期待することや、「こんな都市になって欲しい」と思うことはどんなことですか。

江森　僕は、うちわ祭とか、昔からある伝統行事を一層大事にして欲しいです。なんか新しいことばかしなくても、堂々としていれば良いのではないかと思います。熊谷が暑いのはしょうがないんだから、それについては我慢するしかないんじゃないかな。

市長　なるほど(笑)。うちわ祭など、伝統を大事にして、堂々としていればよいというのは面白い発想です。SHIORIさんはどうですか？

SHIORI　私も自分が将来住みたいまちを考えたときに、まずは、緑が豊かで、老人に優しく、子育て支援が充実していることが、重要視したい部分ですね。

　また、先ほども出ましたが、「若者が活躍できるまち」が理想的だと思っています。市報の裏面に「情熱世代 夢追い人」ってありますよね。私も以前に出していただいたことがありますが(平成19年12月号)、まだまだ駆け出しの若い人って、ああいうところに出ることで励みになるし、すごくモチベーションが上がると思うんです。だから、あの企画はすごくいいなと思うし、これからも続けていって欲しいです。

市長　なるほど、これからこの道でがんばっていこうという志を立てた若者を、暖かく応援できるようなまちということですかね。

SHIORI　あと、私の料理の目線からいくと、ネギ・ニンジン・ヤマトイモなどの野菜が特産の熊谷で、何か一つでもいいので、つきぬけるくらいの野菜を使った名物があるとうれしいです。何年かかけて開発して、「熊谷といえばあの料理だよね」といわれるようなものができるといいな。

市長　確かに野菜を使ったヘルシーな名物はいいですね。野菜が豊富なまちという意見が出ましたが、昨年9月に初めて江南で、また、今月は妻沼で、地元の特産農産物を収穫してもらった後、それを素材に調理して食べてもらう観光イベントを行います。これは、グリーン・ツーリズムと言って、自然や特産を上手に活用しながら観光ルートに乗せてみようというものです。将来は東京の方からもお客さんを呼んでこようと考えています。ですから、そういった面でも、地場産のものをもっと活かしていこうと思います。

特産と観光を結びつけるグリーン・ツーリズム

今後の抱負やこれからの目標

それぞれの分野でご活躍されるお二人ですが、今後の抱負や目標などがありましたら、お聞かせください。

江森　もっと謙虚になりたいですね。やさしくなって、素直になりたいです。

市長　それは自分自身のメンタルの面で？

江森　いや、写真についてです。写真がうまくなるにはどうすればいいかをいつも考えているのですが、それには心が豊かになってないとだめだと思うんですよ。もし、僕が富岡市長を撮る時には、「初めまして」で会ってすぐ写真を撮らなくてはならない。その状況で、富岡市長の「心」を撮らなくてはいけない。そんなときどうすればいいのかというと、「人間力」しかないんですよ。

市長　なるほど。いい写真を撮るためには、自分自身の心が豊かになることが必要な事なんですね。技術だけじゃなくて自分自身の人間力で相手を撮るわけですね。

江森　もし、相手が僕に撮られたくなければ、僕も撮りたくは無いんです。それでは絶対にいい写真になりませんから。だから、写真家として自分に嘘をつきたく無いんです。そういう人間になりたいですね。

市長　なるほど。では、SHIORIさんはどうですか。

SHIORI　私は変わらず食を通して、みんなに幸せを届けたいです。私が本当に料理に没頭し始めたのは、高校生の時に好きな彼にお弁当を作ってあげたのが始まりなんです。できることなら、自分が料理に目覚めた高校生を相手に、母校で料理を教えたいなという希望はありますね。

江森さんが、熊谷の空の澄んだ美しさに感動しながら撮影した写真。
タイトル「心ばかり」(押切橋上から、江森康之さん撮影)

市長　これを形にすると、熊女の学生たちは大喜びすると思いますね。会場は市内の学校などに設定して、高校生を対象にする形でもいいですかね。いろいろな高校から参加者をつのって調理実習室でやりましょうか？

SHIORI　いいですね。そこから、料理の楽しさを知って目覚めてくれたら何よりです。

市民へのメッセージ

市民の皆さん、特に小・中学生や若い世代に向けてメッセージをお願いします。

江森　自分が好きなものを人からなんと言われようと、好きっていう気持ちを大事にしてほしい。なんでもいいんですよ。好きなものは好きで、イヤなものはイヤだって。特に好きなものを、楽しむことが大事だと思うんですよ。写真撮っていて、僕は楽しいですからね。

SHIORI　私はブログをやっているんですけど、日々そこに届く、地元の方からの応援メッセージが、ものすごい励みになっています。そのことへの感謝の気持ちと、今後も変わらずに応援していただきたいなぁって思います。それで私はがんばれますので。

　あと、私も22歳で、周囲からは無謀といわれた夢をかなえることができたので、江森さんがおっしゃられたように、若い世代の方に、夢をもって、それに向かってあきらめずに、努力してつかみ取ってほしいということを伝えたいですね。

市長　今日はお二人と本当に楽しい時間を過ごさせてもらいました。江森さんにはこれからも写真を通して、自分の思いや自分自身を写し出してほしいと思っています。きっと江森さんが写真家になったその原体験は、子どものとき家に帰るまでの夕暮れに、かすかに耳に入ってきたうちわ祭のお囃子や、熊谷の自然なんだと思うんです。

　それからSHIORIさんには料理や、フードコーディネーターの仕事を通して、料理で自分の気持ちを表すということを、若い人たちに広めていただきたいと思っています。これからも料理を発表する中で、熊谷産の野菜を使いましたということをPRしていただければ、実際に生産をしている農家の皆さんにとって、すごい励みになりますので、そんなことも考えていただけるとありがたいです。

　これからも、お二人には体に気をつけて、がんばってください。今日は本当に貴重な時間をいただきまして、ありがとうございました。

江森康之さん・SHIORIさんのサイン色紙プレゼント

江森さん・SHIORIさんからサイン色紙をいただきました。抽選で10人にプレゼントします。

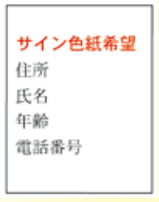
応募方法

　ハガキまたはEメールに、「サイン色紙希望」と明記し、住所・氏名・年齢・電話番号を記入のうえ、1月21日(金)までにご応募ください（一人一通）。なお、当選者の発表は、色紙の発送をもって代えさせていただきます。

Eメールアドレス　kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

表

裏



くま博士が教える 平成19～21年度の行政改革の取組状況

平成21年度までの3年間を計画期間とする「熊谷市行政改革大綱前期実施計画」の取組状況がまとまりましたので、くま博士が説明します。

◆行政改革推進室 TEL 内線216

低コスト高満足市政への転換を目指して

くま博士　行政改革とは、厳しい財政状況や社会の変化に対応して、組織の簡素化、事務の効率化、職員数や給与の適正化などの形で行われる改革のことじゃ。「行革」とも言われるぞ。

3年間で84億円の効果

くま博士　実施結果は、全体で51項目の取り組みに対し、48項目が実施されたんじゃ。

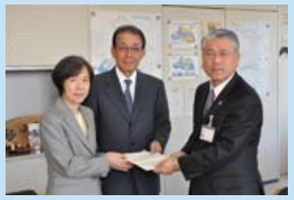
これらの財政上の効果は、金額に換算できるものを対象として概算すると、3年間で約84億円（累計）の効果をあげたんじゃ。

効果が大きかった主な取組内容は下記のとおりじゃ。

主な取組内容	効果額（累計）
平成19年度からの3年間で職員を138人減員	2,511,600千円
市税滞納者対策班の編成による徴収体制の拡充	1,575,671千円
終期を設定するサンセット方式による補助金、交付金、負担金の見直し	967,730千円
職員給与制度における地域手当の段階的な引き下げ	530,527千円
事務事業数1,614本（平成19年当初）のうち290本（18%）を統廃合	516,440千円

くま博士　これらの効果は、新たなまちづくりや子育て応援施策、環境施策や中小企業対策などの経費に活かされておるんじゃ。

また、将来の負担を減らすために市債の繰上償還も行ったんじゃ。



熊谷市行政改革推進委員会の松本光弘会長（中央）および染谷芙美子副会長（左）から、市の取組状況の報告書を受け取る富岡市長

くま博士

詳しくは、市ホームページのほか、市役所1階の情報公開コーナー、各行政センター総務税務課で実施状況報告書が閲覧できます。

大里広域市町村圏組合介護保険特別会計決算

平成21年度大里広域市町村圏組合介護保険特別会計の決算が確定しましたので、主な内容についてお知らせします。

歳入総額は、196億3,960万円で、対前年度比6.5%増、歳出総額は、195億2,079万円で、対前年度比7.0%増となりました。

歳入歳出の差引残額は、1億1,881万円です。

◆大里広域市町村圏組合 TEL 048-501-1330

■歳入

歳入項目	歳入額
第1号被保険者保険料	38億8,342万円
市町負担金	28億　216万円
国庫負担金	42億5,591万円
支払基金負担金	56億1,274万円
県負担金	27億5,246万円
その他	3億3,291万円
合計	196億3,960万円

■歳出

歳出項目	歳出額
総務費	3億8,504万円
居宅介護サービス給付費	95億6,801万円
施設介護サービス給付費	66億7,346万円
地域密着型介護サービス給付費	13億9,011万円
高額介護サービス費	3億　715万円
特定入所者介護サービス費	6億7,051万円
審査支払手数料	2,516万円
地域支援事業費	2億3,825万円
その他	2億6,310万円
合計	195億2,079万円

「介護保険料コールセンター」を開設しました

大里広域市町村圏組合では、介護保険料について、未納の方を対象に、電話で納付の確認をする「**介護保険料コールセンター**」を開設しました。同センターは、組合が委託した専門オペレーターが電話で介護保険料の納付確認を行い、納付が済んでいない場合には、早期の納付をお願いするものです。

◆大里広域市町村圏組合 介護保険課 TEL 048-501-1330

◆熊谷介護保険事務所（長寿いきがい課内） TEL 内線217

熊谷市役所 TEL 048-524-1111

大里庁舎 大里行政センター TEL 048-588-1321

妻沼庁舎 妻沼行政センター TEL 048-589-0311

江南庁舎 江南行政センター TEL 048-536-1521

平成22年度　予算執行状況
上半期の、予算の執行状況のあらましをお知らせします

皆さんに納めていただいた税金などがどのくらい入り、どう使ったのか、市の財政運営を年2回、お知らせしています。

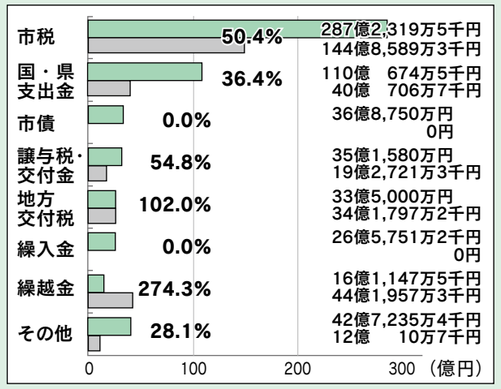
今回は、平成22年4月1日～9月30日の執行状況ですが、当初の計画に沿っておおむね順調に事業を進めてきています。今後とも、予算の執行にあたりましては、無駄を省き、適正な執行を心がけてまいります。

さらに詳しい情報は、市ホームページでご覧になれます。　◆財政課 TEL 内線240

一般会計 収入

予算現額　588億2,458万1千円
収入済額　294億5,782万5千円
収入率　50.1%

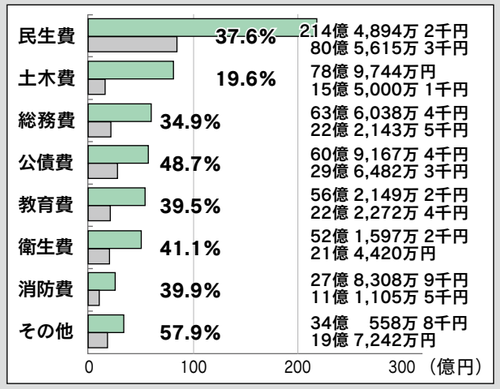
上段＝予算現額（現在の予算額）
下段＝収入済額（収入した額）　%＝収入率



一般会計 支出

予算現額　588億2,458万1千円
支出済額　222億4,281万1千円
執行率　37.8%

上段＝予算現額（現在の予算額）
下段＝支出済額（支出した額）　%＝執行率



特別会計　歳入歳出予算の執行状況

単位：千円、%

会計区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	19,545,973	6,513,844	33.3	9,066,000	46.4
下水道	4,185,201	463,287	11.1	1,405,650	33.6
公共用地先行取得	54,884	0	0.0	27,543	50.2
駐車場事業	271,107	7,931	2.9	80,410	29.7
老人保健	9,007	63	0.7	6	0.1
熊谷都市計画事業土地区画整理事業	1,827,126	249,562	13.7	376,569	20.6
農業集落排水事業	460,515	67,854	14.7	168,517	36.6
後期高齢者医療	1,725,195	588,274	34.1	566,045	32.8
合計	28,079,008	7,890,815	28.1	11,690,740	41.6

市債現在高の状況

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
平成21年度末	46,373,112	26,839,279	73,212,391
上期発行額	0	0	0
上期償還額	2,568,953	870,797	3,439,750
上期末	43,804,159	25,968,482	69,772,641

熊谷市緑の基本計画（案）・スポーツ振興基本計画（案）への意見募集

市では、次の計画の案について、よりよい計画にするため、市民皆さんのご意見をお待ちしています。

	熊谷市緑の基本計画（案）	熊谷市スポーツ振興基本計画（案）
計画の目的	緑地の適正な保全と緑化を推進すること	子どもから高齢者まで、生涯にわたってスポーツに親しむことができるまちづくりを推進していくこと
意見の募集期間	2月1日（火）～21日（月）	1月5日（水）～25日（火）
閲覧の方法	市ホームページに掲載するほか、公園緑地課（大里庁舎）、情報公開コーナー（市役所1階）、各行政センター産業建設課で閲覧できます。	市ホームページに掲載するほか、保健体育課（市役所6階）、情報公開コーナー（市役所1階）、大里・妻沼・江南の教育委員会各事務所で閲覧できます。
意見の提出方法	意見提出用紙に必要事項を記入のうえ、郵送・FAX・Eメール・持参のいずれかの方法で、下記へ提出してください。意見提出用紙は市ホームページのほか、案を公表している場所にあります。 ※匿名や電話等による口頭でのご意見はお受けできませんので、ご了承ください。	
意見の取り扱い	・意見を参考に計画を策定します。 ・後日取りまとめのうえ、市の考え方等と併せて、市のホームページ等で公表します。 ・個別の回答および返却はしません。	
意見の提出先・問合せ	◆公園緑地課（大里庁舎） TEL 0493-39-4806　FAX 0493-39-5603 〒360-0195 中曽根654-1 Eメール koenryokuchi@city.kumagaya.lg.jp	◆保健体育課（市役所6階）TEL 内線392 FAX 048-525-9330 〒360-8601 宮町2-47-1 Eメール hokentaiiku@city.kumagaya.lg.jp